

ニコチン依存症からの脱出！

禁煙新時代

意志の強さでやめる時代から
薬による治療の時代へ



井上内科クリニック

禁煙外来（保険適用・予約制）

代表電話 029-830-7555

予約専用 029-830-8118

<http://www.inoue-cl.org/>

はじめに

2006年4月より禁煙治療に健康保険が使えるようになりました。これは、喫煙を単なる習慣や嗜好と考えるのではなく、「**ニコチン依存症**」という病気としてとらえ、必要な治療を行うという考え方です。禁煙治療は一定の条件を満たした喫煙者の方なら、どなたでも受けることができます。

どんな治療をするの？

禁煙治療は、初回診察に加えて、禁煙開始2週間後、4週間後、8週間後、12週間後の**計5回の治療コース**となります。

【診察内容】

- ① 問診(喫煙状況、喫煙本数、喫煙年数、喫煙による身体への影響について)
- ② ニコチン依存症のスクリーニングテスト(初回のみ)にて保険適応の判定
- ③ 呼気一酸化炭素濃度測定
- ④ 体重測定と体脂肪測定
- ⑤ 禁煙実行と継続にむけてのアドバイス
- ⑥ 禁煙補助剤の説明と処方

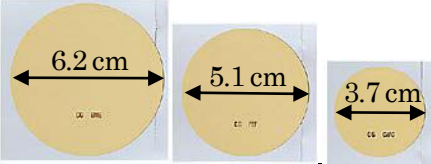

保険適用の条件は？

次の4つの条件をすべて満たす方が、保険適用になります。

- ① ただちに禁煙しようと考えていること
- ② ニコチン依存症のスクリーニングテストで依存症と診断されること
- ③ 喫煙指数(喫煙本数×喫煙年数)が200以上であること
(ただし、35歳未満の方には、適用されません。)
- ④ 禁煙治療を受けることに文書で同意していること

禁煙の薬って？

ニコチンパッチ（貼り薬）とバレニクリン（チャンピックス：飲み薬）が、健康保険が使える禁煙補助薬です。他に、一般の薬局薬店で購入できるニコチンガムがあります。これらの薬は禁煙後の離脱症状をおさえ、禁煙を助けてくれます。バレニクリンは喫煙による満足感もおさえます。ニコチンパッチ、ニコチンガムを使うと禁煙の成功率が約2倍、バレニクリンを使うと約3倍高まります。

ニコチンパッチ（貼り薬）	バレニクリン（チャンピックス：飲み薬）
	
<ul style="list-style-type: none"> ● ニコチンを皮膚から吸収させる貼り薬です。 ● 毎日1枚皮膚に貼り、離脱症状を抑制します。 ● 禁煙開始日から使用し、8週間の使用期間を目安に貼り薬のサイズが大きいものから小さいものに切り替えて使用します。 ● 高用量の剤形は医療用のみです。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ニコチンを含まない飲み薬です。 ● 禁煙時の離脱症状だけでなく、喫煙による満足感も抑制します。 ● 禁煙を開始する1週間前から飲み始め、12週間服用します。

費用はいくら？

使用する薬剤の量や期間によって、また、他の検査を追加した場合などで費用は変わりますが、費用の目安は次の通りです。

費用の目安（保険で3割負担の場合）

単位：円

薬剤	施設	初回	2回目	3回目	4回目	5回目	合計
ニコチンパッチ	医院 ¹⁾	1,740	1,150	1,150	1,150	930	約6,000
	薬局 ²⁾	2,050 (2週分)	1,941 (2週分)	3,460 (4週分)	—	—	約7,500
	合計	3,790	3,091	4,610	1,150	930	約13,500
	自費の場合	9,660	7,880	12,930	1,410	1,410	約33,000
バレニクリン（チャンピックス）	医院 ¹⁾	1,740	1,150	1,150	1,150	930	約6,000
	薬局 ²⁾	2,030	26,00	4,710	4,710	—	約14,000
	合計	3,770	3,750	5,860	5,860	930	約20,000
	自費の場合	9,570	10,060	17,100	17,100	1,410	約55,000

1) 初・再診療+ニコチン依存症管理料、2) 処方料+薬代

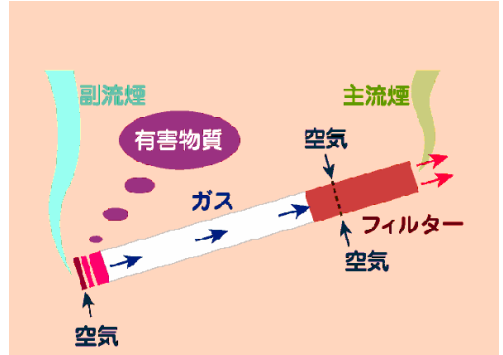
タバコの何が悪いの？

☹ タバコの煙には、200種類の有害物質、70種類の発ガン物質が含まれます。タバコは先進国においてなんと最大の健康破壊因子（死亡原因）です。日本でも年間13万人が、タバコ関連疾患で死亡しています。

☹ タバコを吸わない人でもタバコを吸う人の近くにいると副流煙（タバコの先から立ち上る煙）と主流煙（タバコを吸う人の吐き出した煙）

をいっしょに吸い込むことになります。これを受動喫煙といいます。副流煙には、喫煙者が吸う煙よりも有害物質が多く、大きな健康被害を受けます。

☹ 受動喫煙では年間6,800人が死亡しています。赤ちゃんの突然死や喘息の子どもも多いです。早産や自然流産、周産期死亡、低出生体重児の割合も高くなります。



独立行政法人国立がんセンター・「喫煙と健康」WHO 指定研究協力センター（2010）、受動喫煙による死亡数の推計について（解説）、http://www.ncc.go.jp/information/pdf/20101021_tobacco.pdf

禁煙するとどんな良いことがあるの？

- ☺ タバコ切れのストレスから開放される。
- ☺ せき、たんが治まる。運動能力の向上。
- ☺ 臭いが消える。
- ☺ お金の節約になる
- ☺ 成績が上がる。
- ☺ 肌がきれいになる。
- ☺ 食べ物の味がわかるようになる。
- ☺ 将来の病気が減る。
- ☺ 副流煙で家族を病気にしない。

禁煙は、家族への「愛」です。



自分のためだけでなく、大切な家族のために
禁煙を成功させましょう！